

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ハビ一柏教室		2025年10月6日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 運営・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 園での困りごとや児童発達支援での課題と連動して、園とハビ一の共通教材を作り園にもお渡しし支援の共通化を図っている。 カード類はイラストや等を使用し自作で作成した教材を持参するケースがある。SSTカード(ソーシャルスキルトレーニング)など訪問時に直接介入が必要な児の対応として持ち運べる表情絵カード等があると支援向上につながると思われる。 今現在は、必要であればそのお子様に適した教材を用いている。また現場の先生方と相談し、必要なものが現場で用意できそうなものであれば用意して頂いている。 児童発達支援で使用しているものを使用したり、お子様に合わせて作成して持参している。 	<ul style="list-style-type: none"> イラストやカード等の教材をそのお子様に合わせたもので作成しているため、事業所の支援で試し、効果的なものをご提案することで訪問先でも取り入れやすくしていく。
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 現状でも困り感はないが、担当職員が体調不良になった際に代わりの職員が訪問できるよう増員してほしいと思う。 希望人数が多い場合は、配置数を増やすことも検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
業務 改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 訪問時の様子や課題、アプローチ法について書面での共有を行っている他、朝終礼時や空き時間に職員に伝え適宜意見を仰いでいる。 訪問時の様子を記録に残し職員間で共有している。 訪問後は、教室職員との情報共有や、訪問先の先生方との振り返り、話し合いを行っている。 担当の職員が一人で完結してしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 統一した情報共有の仕組みや方法を、教室内で検討していく。
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援で行った教室独自の満足度アンケートを保育所等訪問支援でも行いたい。 回収した評価表の意見をもとに支援方針を検討している。 評価表で出た意見等を職員と検討して改善に努めている。 頂いた意見は改善できるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談等も実施し、保護者様からの意見を伺いやすい環境は設定している。 今後は匿名で行うアンケート等を実施し、満足度を把握できるようにしていく。
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 朝終礼時や空き時間で他の職員に意見を求めている。 情報交換等が必要な場合、適宜実施している。 訪問後の終礼時や検討会の時期など、適宜意見が反映できるようにしている。 職員会議を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も様々な職員の意見等が反映出来る体制を整えていく。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先の学校や園にも事業所評価表を送付し、業務改善に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者からの評価は行っていない。訪問先に評価表をお渡しし、記入して頂くようご協力は求めている。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 社内外の保育所等訪問支援連絡会に参加し、よりよい手だての共有や情報収集を行っている。 保育所等訪問に関する社内研修は実施していないが、保育所等訪問を実施している教室と集まり意見交換会は実施している。 今後実施予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己研鑽するために、外部研修などの参加に各自努めている。 社内意見交換会にて、定期的な社内研修の希望を伝えていく。
	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 普段の会話から本児の願いを汲み取り、保護者様と共有して個別支援計画に反映させている。 必ずアセスメントは保護者様と関係機関とで実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画検討会に出動の職員全員が参加し、日頃の事業所内での支援の様子も伝え合いながら個別支援計画の作成をしている。 担当の職員が会議に出席し、児童発達支援管理責任者が作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし

適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 園での様子について担任の先生に聞き取りをしてから個別支援計画を作成している。 訪問時に都度情報を共有している。 保護者様や訪問先の意向を伺い、個別支援計画に反映している。 保護者様と関係機関との中立的な立場で実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> お子様や保護者様、訪問先の意向を聞き取り、そのうえでお子様に適した内容で支援計画に反映出来るようにしている。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援でご利用の際、保育所等訪問での課題にもアプローチできるよう職員に共有している。 個別支援計画がいつでも確認できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当の職員の対応について他の職員もその状況を知ることができるよう、周知する時間を定期的に設けている。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援や保育所等訪問支援時の様子も合わせてアセスメントを行っている。 社内で統一したアセスメントシートを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> お子様の最善の利益を守るため、園、家庭、事業所との連携を高めることを意識している。そのために園の先生の困り感にも耳を傾け、具体的にアドバイスすることを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 情報共有を大切にしている。 個別支援計画の内容を常に確認し、計画に沿って支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援の事業所も含めて利用して頂いているお子様には、訪問先の様子や課題感を共有したうえで、支援に取り入れている。 児童発達支援を利用されていない、保育所等訪問支援のみのお子様に関しては、職員間で共有を行い、支援のアドバイスを受けたうえで、担当職員が支援を行っている。 担当が訪問する為、児童発達支援の職員間の共有時間が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援と共通の目標を持てるよう、担当職員だけでなく、職員全員に保育所等訪問支援の様子について共有する時間を設けていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 朝終礼等で内容を共有している。 訪問支援記録表を回覧している。児童発達支援と併用して訪問しているお子様に関してはもう少し共有の時間が増えると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝終礼時以外でも共有や検討する時間を設けていくようにする。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 介入希望の有無、園の教育方針などを把握し、失礼にならないよう意識している。 訪問先と話し合いながら、お子様への介入の仕方や支援方法を決め、支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 訪問記録は職員全員に書面と口頭で共有し、意見を伝え合っている。 他事業所とも連携を図り検証を進めている。 前回までの記録を確認したうえで、支援にあたっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画を見直すために、定期的に保護者様や訪問先の職員と面談をおこない、意向を伺っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 担当者もしくは児童発達支援管理責任者が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様の希望を受け、就学時の引継ぎを関係機関と行っている。 また同様に保護者様の希望を受け、他事業所などの関係機関と連絡を取り、情報共有を図っている。 必要に応じて、希望があれば関係機関と連携する体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所との結びつきは強固ではないため、体勢を整える必要がある。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けての課題達成のため、園と課題のすり合わせや手だての共有化を図っている。また保護者様の希望を受け、就学時の引継ぎを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 社内の専門職員に相談・助言を求められる体制はあるが、保育所等訪問支援における外部の研修参加はあまりできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に外部研修への参加は行っていきたい。また協議会に参加した際には他事業所と意見交換を行い、質の向上に努めていく。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 市が主催の連絡会に参加している。また他の機会があるなら参加していく方針である。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も協議会に積極的に参加していく。

関係機関や保護者との連携	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・基本的に児童発達支援を併用しているため、日頃から園やご家庭での様子を聞き取り、訪問支援に活かしている。保育所等訪問支援のみ利用の場合でも、訪問前に保護者様の心配事等を聞き取ったり訪問後のフィードバックを対面で行ったりすることで、適切に保護者様のサポートが行えるよう工夫している。	・特になし
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	・児童発達支援と併用している保護者様には、丁寧にお声かけができています。 保育所等訪問支援のみ利用のお子様には、来所して頂ける日数が月1回と少ないため、ご案内できていない。 ・研修やペアレント・トレーニングの機会を設けるようなことは行えてはいない。	・ペアレント・トレーニング等いつでも提供できるよう、職員で研修を受けるようにする。また、保護者様の話を聞く時間を確保できるようにしていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に説明している。	・特になし
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		・初回の連絡で、保育所等訪問支援の趣旨や経緯を丁寧に伝え、園の理解を得た上で訪問している。 また毎回の訪問で園の先生方の困りごとの解決に寄与できるように具体的なアドバイスを心掛け、信頼関係の構築に心を配っている。	・特になし
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・個別支援計画の読み合わせでは、保護者様やお子様の意向と合っているか確認してから同意を頂いている。必要に応じて内容を修正している。	・特になし
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		・読み合わせを行い、意向に沿っているか確認してから同意を得ている。	・特になし
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		・訪問前の聞き取りや訪問後のフィードバックにて保護者様と面談を行い、助言を行っている。	・特になし
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	・適宜保護者会を設けている。 ・保育所等訪問支援のみ利用の場合、交流する機会を設ける事ができていない。	・教室内で地域向けのイベントを行っている。引き続き必要に応じてイベントにお誘いをしたり、保護者様との交流の場を設けていくようにしていく。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・お悩み事を受けた場合はすぐに職員に周知し、家族支援の設定をするなど、教室内で意見を出し合い、アドバイスできるようにしている。 ・迅速に対応できる体制を整えている。	・特になし
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3	・教室内で行ったイベント等に関することはブログで発信を行っている。	・保育所等訪問支援の取り組みについて必要に応じて発信していけるよう検討していく。
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・同意書に記入している。 ・関係機関に共有する際等、その都度保護者様に確認を行っている。	・特になし
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・大切な話は面談の時間を設け、じっくり丁寧に話すようにしている。 また必要に応じて、まとめた内容を双方で共通認識できるよう書面に起こしお渡ししている。 ・視覚情報を用いるなど、必要なツールを活用するなどの配慮している。 ・メモ帳を持参し、わかりやすく支援することがある。	・特になし
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		・毎回訪問後に時間を頂き、先生方へ助言等を行っている。 ・対象のお子様以外でも相談事がある場合は訪問時間とは別に回答できる範囲で相談を受け付けている。	・特になし
訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		・支援後に必ず時間を頂き実施している。 ・都度、担当者利用者様の意向について話し合いを行っている。	・特になし
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		・基本的には訪問後に保護者様に来所頂き、フィードバック面談を行い共有している。	・特になし
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・情報が漏洩しないよう留意している。	・特になし

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4		・必ず訪問の前と後に園の先生からお話を伺い、支援の方向性のすり合わせや困りごと軽減のための助言を行っている。	・特になし
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	・児童発達支援と同様に実施している。	・保育所等訪問中の緊急時のマニュアルなど都度整備している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	・児童発達支援と同様に実施している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	・訪問時にヒヤリハットは発生していない。	・発生時は、職員間で共有し事故防止に向けて対応方法を検討していく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・社内で研修を受けている。	・特になし
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		・契約中のお子様で該当者はいないが、身体拘束の内容や対応の流れは職員全体で把握できている。 ・現在個別支援計画に記載はしていないが必要に応じて記載していく。契約時に身体拘束について説明を行っている。	・特になし